

ご案内



①防湿フィルム付属グラスウール 施工マニュアル

②高性能グラスウール+ 別張り防湿層施工マニュアル

グラスウール充填、防湿気密フィルム施工についての詳細はこちらのマニュアルでご確認ください。マニュアルをご希望の場合は、下記のマグ・イゾバールコールセンターまでお問い合わせください。

■付加断ボード仕様表

商品番号	種類	密度 (kg/m ³)	熱伝導率		熱抵抗値	寸法(mm)			入数 (枚)	相当坪数	対応構造		対応部位			対応モジュール		設計価格 (円/坪)
			(W/m·K)	記号		厚さ*	幅	長さ			軸組	枠組	屋根	天井	壁	床	尺	
FDB35045	高性能品 HG32-35	32	0.035	λ35	1.3	45	410	1,820	10	2.5	●	●				●	●	5,500
FDB35060	高性能品 HG32-35	32	0.035	λ35	1.7	60	410	1,820	8	2.0	●	●			付加	●	●	7,100

※「λ」は JIS規格上の呼び厚さに基づいた表示です。
※熱伝導率 (W/m·K) は、平均温度23±1℃の値です。

●…JIS A 9521 建築用断熱材(F☆☆☆☆)
設計価格につきましては、材料のみの税抜き価格です。

MAG-ISOVER CONSTRUCTION MANUAL

付加断ボード 施工マニュアル



SAINT-GOBAIN

マグ・イゾバール株式会社

〒102-0083

東京都千代田区麹町3丁目7番地(サンゴバンビル)

Tel.03-3288-6636 Fax.03-3288-7362

http://www.isover.co.jp

製品に関するお問い合わせは…

マグ・イゾバール コールセンター フリーコール受付時間 AM9:00~12:00 PM1:00~5:00 ※平日のみ

TEL 0120-941-390 FAX 0120-941-391

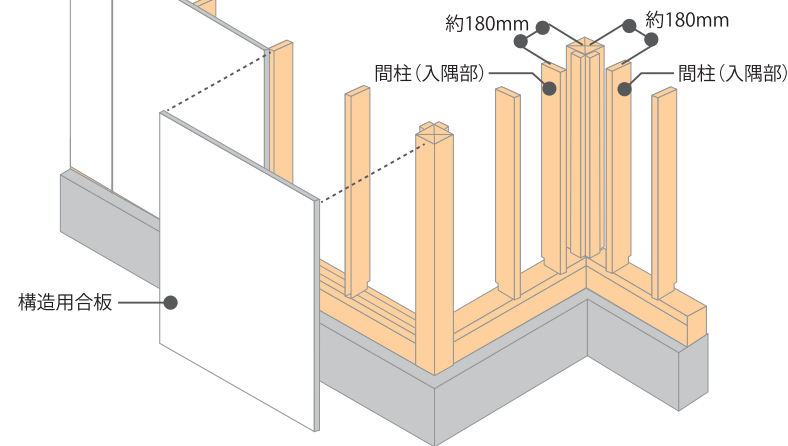
2017-09/3/MS

MAG
isover SAINT-GOBAIN
断熱から始まる快適エコ

■ 施工手順(1) 躯体の施工

構造用面材を施工します。

※入隅部分は、通気胴縁の下地として柱芯から180mm程度離れた位置に間柱を追加して施工します。



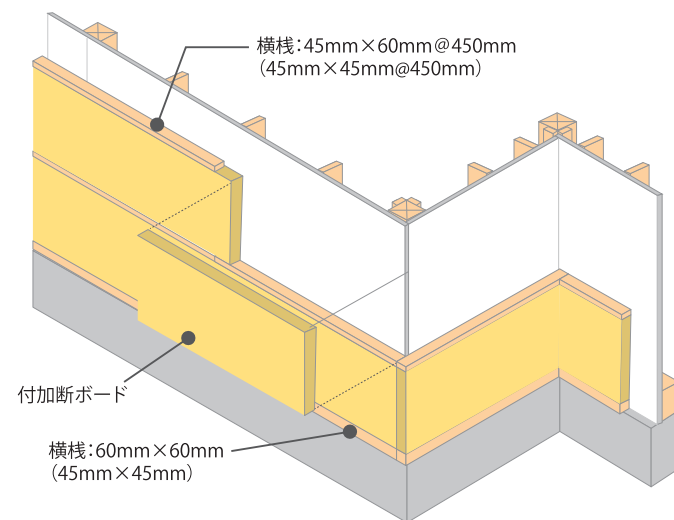
■ 施工手順(2) 付加断ボード、横棧の施工

①土台に断熱材厚さに合わせた横棧60mm×60mm(45mm×45mm)を取り付けます。

②構造用面材に横棧を取り付けていきます。横棧は柱及び間柱の位置で釘止めとし、ピッチは450mmとします。

③取り付けした横棧の間に付加断ボードを充填します。

※付加断ボードは撥水加工が施されており、少々の降雨時でも問題なく施工できます。

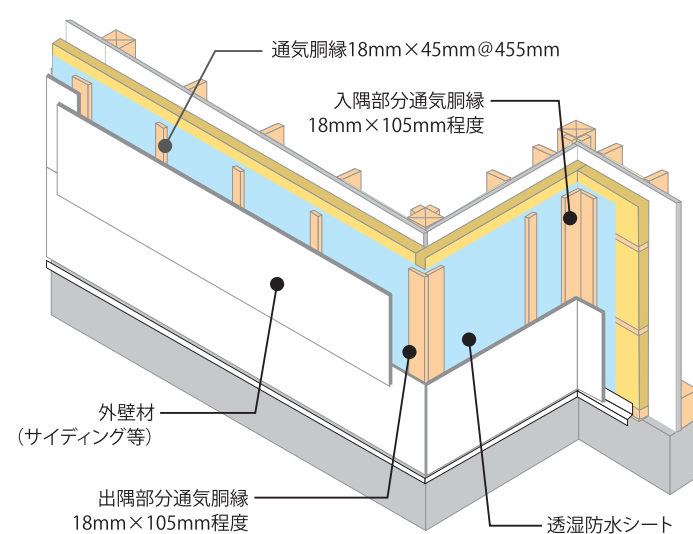


■ 施工手順(3) 透湿防水シート、通気胴縁、外装材の施工

①付加断ボードの上から透湿防水シートを施工します。透湿防水シートは横張りを原則とし、重ね代は縦90mm以上、横150mm以上としてください。

②透湿防水シートの上から通気胴縁を取り付けます。横棧上の位置で釘または木工ビスを用いて躯体に固定します。

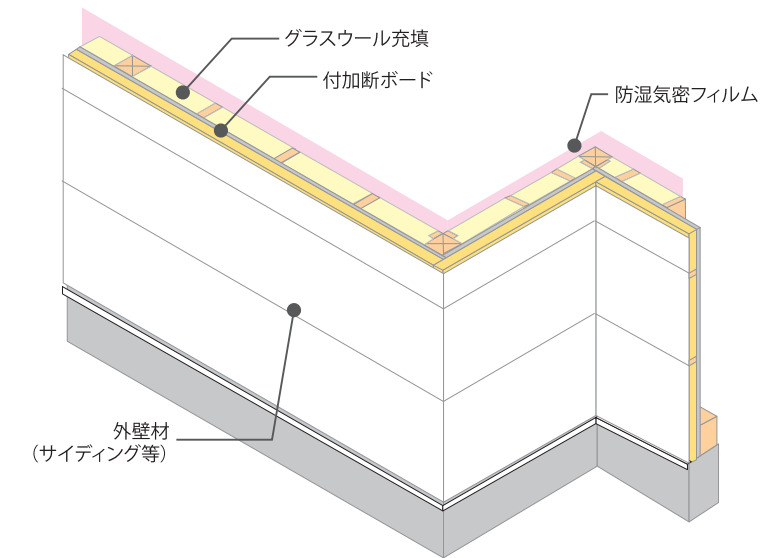
③最後に通気胴縁に外装材を取り付けます。



■ 施工手順(4) グラスウール充填、防湿気密フィルム施工

躯体間にグラスウールを充填し、室内側に防湿気密フィルムを施工します。防湿気密フィルムの重ね代は木下地のある部分で30mm以上とします。

※グラスウール充填、防湿気密フィルム施工についての詳細は、裏表紙でご紹介している「防湿フィルム付属グラスウール施工マニュアル」「高性能グラスウール+別張り防湿層施工マニュアル」を別途ご参照ください。



● 注意が必要な施工部位

<開口部>

①サッシ受け材を取り付けます。受け材の厚みは、付加断ボードの厚さに合わせてください。

②サッシ施工後、付加断ボードを施工してください。

※開口上下の通気胴縁の端部固定の為、開口部上下に横棧を追加します。

<基礎>

外周部の基礎立ち上がりは約50mm外側にふかすか、基礎断熱することでふかす事を推奨します。

